

総合科学による 古代エジプト調査研究 支援事業

御支援のお願い



現在、名古屋大学では、4500年前に築かれたギザの大ピラミッド内外の世界最高水準の学術データを保持しています。これは、考古学者の河江肖剰の指揮のもと、異分野との連携による「オープンイノベーション・プロジェクト」の一環として、世界で初めてドローンを用いた3D計測調査を実施し、取得された貴重なデータです。さらに物理学者の森島邦博率いる調査チームによる宇宙線ミュオンを用いた研究調査によって「未知の巨大空間」の存在も確認されています。

古代エジプトの古王国時代(紀元前2592年~2120年頃)は、ピラミッドに象徴される巨大王墓の建造が特徴であり、70基を超えるピラミッドが造られました。しかしながら、これらの建造方法はいまだ明確には解明されておらず、多くの点で仮説の域を出ておりません。

本調査研究では、この古代世界最大の謎とも言えるピラミッドの構造と建造技術の解明を目指し、取得した3Dデータをもとに総合科学的なアプローチによる分析を進めています。さらに、古王国時代に築かれた他の巨石建造物の計測や周辺の発掘調査を実施し、建造技術の変遷を通史的に明らかにすることを目指します。あわせて、物質文化資料や文字資料などの考古学的データと統合し、多面的かつ定量的に当時の社会の変容を読み解いていきます。

このような研究を継続・発展させ、世界最高水準のオープンイノベーション拠点として、人類史上きわめて重要な文化遺産であるピラミッドの謎に挑み続けるためには、研究資材の確保、現地での継続的な調査、国内外の優秀な研究者との連携、さらには民間企業との協働体制の構築など、安定した資金基盤の整備が不可欠です。

しかしながら、現在の国の研究資金制度は、現代社会の課題に直結する応用研究や、基礎科学に重点が置かれており、古代遺跡の研究、とりわけ本研究のような分野横断型の新たな試みには、極めて限られた資金しか得られていないのが現状です。人文社会系の研究助成は理工系と比較して著しく少なく、大規模なオープンイノベーション型研究を推進するには、十分な財源が確保されていません。

そこで本学では、この調査研究を広く社会からご支援いただくことを目的に、「総合科学による古代エジプト調査研究 支援事業」を設立する運びとなりました。本基金の趣旨にご理解とご賛同を賜り、ぜひとも格別のご支援をお願い申し上げます。



基金の目標額と支出範囲(用途)

年間1000万円

- (1) 現場調査の継続的实施や研究資材の確保
- (2) 研究技術者の確保
- (3) 若手研究者の育成
- (4) 民間企業との共同研究ならびに業務委託(随意契約)
- (5) 人材育成として調査研究に参加する学生に対する支援の費用

ご寄附の申し込み方法

ご寄附は以下の方法からお願い致します。
いずれの場合も「特定基金：総合科学による古代エジプト調査研究支援事業」
をご指定願います。

1 銀行・郵便局で振込用紙による方法：

下記のお問い合わせまでご連絡いただければ、振込用紙を送付させていただきます。

2 クレジットカード、インターネットバンキング、ATM、コンビニによる方法：

名古屋大学特定基金のHPからお申し込みください
(<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/menu/project>)



* 税法上の優遇措置につきましては、名古屋大学基金の「税法上の優遇措置」の
ページをご覧ください (<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/honoring/exemption>)



寄附をいただいた方への特典

名古屋大学基金の寄附者顕彰（感謝状、芳名録、銘板等）に加えて、
プロジェクト独自に以下の特典を提供致します。

全ての寄附者様

- ・メールマガジンの配布（年に1回程度）。

10万円以上 の寄附者様

- ・プロジェクト・オリジナルTシャツ贈与。
- ・オンライン講演等（一部）への無料参加。

100万円以上 の寄附者様

- ・プロジェクト・オリジナルTシャツ贈与。
- ・オンライン講演等（一部）への無料参加。
- ・全国出張講演（*講師の旅費の費用は別途ご負担下さい）。

お問い合わせ先

名古屋大学Development Office（DO室）

Tel: 052-789-4993

e-mail: do@kikin.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター

Tel: 052-789-2369

e-mail: dhss-jimu@t.mail.nagoya-u.ac.jp